

中国・四川大地震パンダプロジェクト

2008年5月12日、中国・四川省をM8級の地震が襲いました。死者・行方不明者8万人以上、数百万人が避難生活を続ける大災害に対し、私たちは「忘れない、思いをはせる、気持ちを届ける」を合言葉に日本からの支援策を探ってきました。そこで生まれたのが「パンダタオル」です。見た目はかわいくとも、被災地と私たちをつなぐメッセンジャー。当通信は、パンダタオルをめぐる活動や被災地の状況をお伝えしながら、復興支援への協力を呼び掛けます。

～被災地は今～

第3回・青川のテント村の女性たち

今回の訪問（2008年11月6～11日）で最後の目的地としたのは、日本の国際緊急援助隊が駆け付けたことで知られる青川県だった。滞在先の成都から車で高速道路を使っても約5時間。途中、延々と続く山道に揺られ、車窓に流れる山あり谷ありの景色を、日本の援助隊員はどんな思いで見ているのだろう、と想像をめぐらせた。

到着してまず目に飛び込んできたのが、青い屋根の仮設住宅群。これまでの町でも目にしたが、より規模が大きくなっているように見えた。それもそのはず。ここでは県の政府施設がほとんど壊れ、プレハブに移されていたのだ。

しかし、役人はまだいい。次に見えてきたのは街中をびっしりと埋める非常用テントと、そこで身を寄せ合っている大勢の被災者だった。

青川は人口約25万人の都市で、震災により5000人近くが亡くなったとされている。ただし、正式な人口統計には表れないであろう、戸籍のない人たちが周辺の山間部から町に下りてきている。そうした人たちは仮設住宅には入れず、中国政府や外国から提供されたテントをとりあえず確保し、道端やがれきの上で暮らし続けていた。今にも崩れてきそうな半壊の集合住宅のすぐ足元に彼らが住み着くため、危険な住宅の取り壊しもままなら

ないという状況に陥っているようだった。

そんなテント暮らしを強いられている四十代の女性に話をうかがうと、「山は土砂崩れがあって住めないし、町では仮設にも入れない。どうなるのか政策が決まるまで待つしかないけれど、テントで寝ていると頭が痛くなるし、盗みも多くて怖い」と訴えた。

別の七十代の女性はテントではなく工場の門番小屋で暮らしていた。「地震のことを思い出すと今でも涙が出て

くる」と目を赤くはらしながら、「世界中の人たちが関心を持ってくれて、ありがたい」と頭を下げた。話を聞いていると、5人いるというお孫さんのうち、6歳になる女の子が顔をのぞかせた。その子は緊張してかたい表情のままだったが、パンダタオルを手渡すと、大事そうにギュッと抱きかかえてくれた。

今回、私たちにできたのは、こうして被災者の声にじっと耳を傾け、パンダタオルを手渡すことだけ。それがどれだけの支援になったのか、そもそも支援であったのか、正直分からない。ただ、実際に目にした被災地の現状、出会った被災

者の思いを、こういう形で少しでも伝えられればと思っている。

最後に、この訪問事業に多大なご支援、ご協力をくださった皆さまに、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

（文・写真＝レスキューストックヤード事務局・関口威人）

※次回はCODE 海外災害援助市民センタースタッフの吉椿雅道さんの最新報告をお届けする予定です。



パンダタオルづくりにご協力、謝謝！

昨年11月に名古屋市中川区の供米田中学校で行われた「防災文化祭」でパンダタオルプロジェクトのことを知った中学生の奥田智子さんから、手作りのパンダタオルとお手紙をいただきました。以下、手紙から抜粋。

「お話を聞いているうちに興味を持ちパンダタオルを作ってみました。あまりきれいな作りではありませんが、中国の小さい子達などに喜んでもらえるたらいいなと思います。パンダプロジェクトを第一歩に色々なボランティアなどに取り組んでいけたらなあと思います」。奥田さん、本当にありがとう！

1月～2月	名古屋市北区はつらつ長寿サロン 名古屋市北区社会福祉協議会主催	川中・金城・東志賀・大杉・辻・六郷・楠 楠西学区コミュニティセンターなど
	名古屋市東区はつらつ長寿サロン 名古屋市東区社会福祉協議会主催	筒井学区コミュニティセンターなど ※旭丘・明倫・葵・東白壁学区も開催予定



😊パンダタオルの輪😊

☆思いよ、届け☆

北区、東区両方で320～330個くらい出来上がります。皆さん、出来上がったパンダタオルとのお別れが悲しいといってください。真剣に取り組んだ後、出来上がりを持ってみんなで写真を撮りました。(椿)

【まめまめ四川】③四川料理はやっぱり辛～い

四川料理は重慶を含む四川地方の郷土料理を指します。日本人にとっては「辛い」イメージですが、中国人は四川料理を麻辣（マーラ）という中国語で表します。「麻」は山椒の麻痺するような感覚の辛さ、「辣」は唐辛子のピリピリした感覚の辛さ。この二つの風味が複雑に重なり合い、深い味わいを醸し出すのです。どちらにしても本場で食すと本当に辛い！（関口）



青川で食べた四川料理。見た目も激辛！

事務局より

●作り手さん大募集！！『パンダ作り教室』を開催！

3月4日(水)10:30～12:30、14日(土)13:00～15:00
24日(火)19:00～21:00

※参加自由。パンダキット1セット100円で販売します。

場所：NPO 法人レスキューストックヤード事務所

(地下鉄東山線「本山駅」下車2番出口から徒歩2分)

3月8日(日) ボランティア&NPO フェスタ@名古屋市総合福祉会館(地下鉄名城線「黒川駅」1番出口より徒歩7分)

●『パンダ教室』をイベントによんでください！

四川大地震写真パネルの貸し出しやパンダづくり講師を派遣します。(パネル貸出無料。講師交通費はご負担下さい)

●パンダタオルプロジェクト募金にご協力下さい。

パンダタオルを作成・送付するために必要経費として材料費や郵送料等が必要です。活動資金のご協力をお願いします。

【お振込み先】郵便振替：00800-3-126026

加入者：特定非営利活動法人レスキューストックヤード

※通信欄に「中国四川大震災支援」と明記してください